

福祉の心 輝く!!

福祉教育読本「ともに生きる」 感想文と福祉絵画コンクール



社協だより

131号

平成22年12月1日

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180
市民活動交流館
(メイトム宗像)2階
TEL 0940-37-1300

宗像ユリックスで11月3日に開催された第9回子どもまつりで、福祉教育読本「ともに生きる」感想文と福祉絵画コンクールの表彰式、作品展示をしました。

純粋な心に接して
審査員も感動!
「ともに生きる」
感想文コンクール

毎年、市内の小学5年生を対象に「ともに生きる」の感想文を募集し、表彰と展示をしています。この「ともに生きる」

「ともに生きる」感想文 受賞者(表1)

賞	小学校名	氏名
会長賞	自由ヶ丘南小	竹内 皓紀
金賞	河東西小	久原 瑞帆
金賞	赤間小	藤 彩乃
銀賞	東郷小	小林 桃子
銀賞	南郷小	黒岩 祐斗
銀賞	河東西小	志手麟太郎
銅賞	大島小	宮本 大空
銅賞	赤間小	脇坂 貴大
銅賞	日の里西小	田畑 裕崇
銅賞	日の里西小	田畑 遥陽



金賞 幼児の部

東郷信愛幼稚園
井上 琢文(たくみ)さん
「3人で「いたいいたいのとんでいけ」」



金賞 小学校低学年の部

吉武小学校
山下 眞歩(まほ)さん
「はやくよくなってね」



金賞 小学校高学年の部

日の里東小学校
藤川萌々花(ももか)さん
「誰でもできる! 思いやり」



金賞 中学生の部

日の里中学校
谷口誠実子(まみこ)さん
「あなたはどうぞ?」



金賞 高校生の部

宗像高等学校
岡本由祈子(ゆきこ)さん
「思いやり」

福祉絵画コンクール 受賞者(表2)

部	賞	学校名など	氏名
幼児の部	金賞	東郷信愛幼稚園	井上 琢文
	銀賞	玄海風の子保育園	田中彩都貴
	銀賞	野ばら保育園	大森 悠生
	銀賞	日の里西保育園	松村 環
	銅賞	東郷信愛幼稚園	荒牧 真歩
	銅賞	日の里西保育園	鍋島 杏莉
	銅賞	玄海風の子保育園	吉田 幸平
	銅賞	恵愛保育園	田坂 美夏
	銅賞	野ばら保育園	上松 悠人
	銅賞	恵愛保育園	上田 泰世
小学校低学年の部	金賞	吉武小学校	山下 眞歩
	銀賞	東郷小学校	松田 清香
小学校高学年の部	金賞	日の里東小学校	藤川萌々花
	銀賞	日の里東小学校	奥迫 優奈
	銀賞	東郷小学校	村山 綸捺
	銅賞	南郷小学校	中村 友紀
	銅賞	日の里東小学校	金田 奈央
	銅賞	河東西小学校	野中 彩華
中学生の部	金賞	日の里中学校	谷口誠実子
	銀賞	河東中学校	比良松 萌
	銀賞	日の里中学校	首藤 結華
	銅賞	河東中学校	三仙 千尋
	銅賞	城山中学校	赤星 莉絵
	銅賞	大島中学校	遠藤 未侑
高校生の部	金賞	宗像高等学校	岡本由祈子
	銀賞	東海大学付属第五高等学校	北里 寛美
	銅賞	東海大学付属第五高等学校	相良 章史
	銅賞	宗像高等学校	鳥井 菜野

は、毎日の生活で心身にさまざまな困難を感じている人や、その家族、周りで援助をしている人たちの実話を基に、県社会福祉協議会が作成した本です。

このコンクールは、市内の幼児から高校生までを対象に、「思いやり・やさしさ」をテーマにした

見る人の心を揺さぶる力作ぞろい
福祉絵画コンクール

いやりをはぐくむことが目的です。審査員も感動するほどの素晴らしい感想文ばかりの中で、表1の10作品が受賞しました。おめでとうございます。



会長賞を受賞し、舞台上で感想文を朗読する竹内皓紀(ひろき)さん

このコンクールは、市内の幼児から高校生までを5部門に分け、表2のとおり、計28作品が受賞しました。おめでとうございます。

さまざまな経験や自分の思いを「絵」に描くことで、本人や家族・友達に福祉への関心を高めたいと思います。幼児から高校生までを5部門に分け、表2のとおり、計28作品が受賞しました。おめでとうございます。

つながれ ひろがれ 地域福祉! シリーズ⑧

日の里西小学校の取り組み

市社会福祉協議会では、生涯学習の一環として福祉教育を推進し、小学校などが実施する福祉体験学習に協力しています。福祉教育では、体験学習や障がいのある人との交流を通じて、相手の立場になって考えることや自分たちにできることを学習します。障がいのある人もない人も、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進することが目的です。



5年1組担任の夏秋穂子教諭(右)と同2組担任の木村郁代教諭

今年度は、車いす体験や車いすを利用している人の話を聴きました。車いすに乗って段差や砂地を通ってみると、思うように動かせず「車いす

生活するのは大変だ」と感じたよって、車いすに乗っている人はわたしにとって、車いすは行きたくないところに行くための大切なもの「不便な時もあるけれど不幸だと思つたことはない」と話されました。話を聴いた後、車いすが不便なのではなく車いすを使う環境が不便にさせているのではないかとみんなで考えました。その後、再び車いす体験をして、普段何気なく通っている坂道が車いすだととても不便な道であることを知り、そのような不便さを少しでも減らすうえで大切なのが「心のバリアフリー」だと教えていただきました。体の不自由な人や困っている人がいたら「お手伝いしましょうか」と声をかけることなど、「みんな」が暮らしやすい地域になるために自分は何ができるかをこれからの学習で考えていきます。

5年生になった今年は、子どもたちは耳や目の不自由な人の生活や気持ちに少しでも寄り添い、自分ができることや相手の気持ちを考えて行動することの大切さを考えてきました。

これらの体験を通して、子どもたちは耳や目の不自由な人の生活や気持ちに少しでも寄り添い、自分ができることや相手の気持ちを考えて行動することの大切さを考えてきました。

普段何気なく通っている坂道が車いすだととても不便な道であることを知り、そのような不便さを少しでも減らすうえで大切なのが「心のバリアフリー」だと教えていただきました。体の不自由な人や困っている人がいたら「お手伝いしましょうか」と声をかけることなど、「みんな」が暮らしやすい地域になるために自分は何ができるかをこれからの学習で考えていきます。



学校の周りの歩道を体験

みんなで支えあう あたたかい地域づくり

歳末たすけあい募金が始まります

今年も12月1日から「歳末たすけあい募金」が始まりました。

すでにNHKのテレビ放送で、募金協力の呼びかけが実施されています。

この募金は、「新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるように」との目的で、民生委員・児童委員の協力で行っています。

昨年、みなさんからいただいた募金は、低所得世帯や地区福祉会、福祉団体、ボランティア団体、子育てサークル・サロンなどに配分し、有効に活用されました。

年末の何かと出費の多い時期ですが、今年もみなさんの協力をお願いします。

10月1日から始まった赤い羽根共同募金運動。今年も、いつもと違った光景が大島港ターミナルにありました。初めて大島中学校の生徒「大中健児」が街頭に立ち、募金活動に参加してくれました。

この日、大島は「みあれ祭」のため早朝から大勢の観光客でにぎわっていました。島を訪れた人

たちに、元気な声で朝のあいさつをした中学生たち。募金箱には真心がこぼれ、い詰まっています。また、生徒たちの笑顔に引き込まれて募金の協力をしてくれた人が、後日感謝の気持ちを書いたお便りを届けてくれました。

大島で中学生が街頭募金の呼びかけ

寄付 ありがとうございます

【香典返し】(敬称略)

- ・(故)森栄吉(自由ヶ丘)
- ・(故)山下雅弘(吉留)
- ・(故)内田正之(日の里)
- ・(故)盛美智子(ひかりヶ丘)
- ・(故)花田ミツエ(上八)
- ・(故)西山八千代(田熊)
- ・(故)神ユリ子(東郷)
- ・(故)吉野剛治(自由ヶ丘)
- ・(故)橘正信(江口)
- ・(故)次郎丸一彦(曲)
- ・(故)柳田光弘(平井)
- ・(故)田中義雄(東郷)
- ・(故)占部久(吉田)
- ・(故)山崎秀雄(三郎丸)
- ・(故)嶺史朗(日の里)
- ・(故)毛利繁人(城西ヶ丘)
- ・(故)長井和昭(朝町)
- ・(故)北野睦子(鐘崎)
- ・中野忠幸(深田)
- ・(故)花田善作(田野)

【一般寄付】(敬称略)

- ・宗像市商工会女性部

平成22年10月31日受付分まで

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願ひします。

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

宗像市久原180番地 市民活動交流館(ナイト)宗像内
 宗像市神湊118番地4 4つゆつぷらざ内
 大島支所 宗像市大島1809番地32 ふれあいセンター内
 ホームページアドレス=http://syakyo.munakata.com/
 メールアドレス=info@syakyo.munakata.com

☎(37) 13000
 ☎(34) 60008
 ☎(72) 22994

市民と共に創造する 福祉の里づくりプラン

前号(10月1日号)に引き続き、第3次計画の概要を紹介いたします。今回は、前号で紹介した6項目ある第3次計画活動方針の中から「①住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進」に基づく活動方針を紹介いたします。

活動方針① 住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進

1 福祉の里づくり事業の推進強化
市社会福祉協議会と宗像市、関係機関や関係団体が連携・協働して福祉の里づくり事業を推進します。第3次計画の進捗管理と中間年度での評価と見直しを実施します。

2 市社会福祉協議会経営への住民参画の推進
市社会福祉協議会の各種計画の策定時に、目的や内容に応じて、福祉分野以外の専門家への委嘱や市民公募などによる住民参画を実施。また、「市民公募による評議員の設置に関する規程」による評議員の委嘱を行います。

3 地区別地域福祉活動計画策定の推進と支援
市社会福祉協議会が、住民主体・住民参画による地域福祉の充実・推進や、地域特性に基づいた地域福祉活動を福祉会などが計画的に推進するために、地区別福祉活動計画の策定支援をします。

4 住民への市社会福祉協議会広報活動の充実強化
積極的に社会福祉協議会活動を住民に周知し、理解促進を図って、住民主体・住民参画による地域福祉を推進します。そのために役員による広報活動調査委員会(仮称)の設置や新たなメディアによる広報活動を検討します。

次回(2月1日号予定)は、今回に引き続き、第3次計画活動方針の中から「②住民自治活動としての地域福祉の推進」以降の活動を紹介いたします。

また、第3次計画は、本会ホームページで全文を公開していますので、ぜひ参照ください。

障害者生活支援センター

土・日曜日、祝日を除く 午前8時30分～午後5時
 ☎(34)24111 ファックス☎(34)24222
 メールアドレス saw09180@hkg.odn.ne.jp

職場体験実習 参加者募集

同センターでは、障がいのある人が職場を体験することや、自分に合った仕事を見つけてもらうために、職場体験の実習を実施しています。

●内容 市内にある事業所での清掃作業、商品管理、販売補助、事務作業など

①体験コース 3日間の職場体験実習

②実習コース 7日間の職場体験実習

*両コースとも必要に応じて支援員による補助あり

●対象 障がいのある人

●期間 平成23年1月以降 随時開始

*事前オリエンテーションあり

商品運搬・陳列作業の様子

ボランティアセンター通信

日曜日(第1土曜日)を除く 午前8時30分～午後5時 ☎3741000 ファックス☎37401

車いす移送車を貸し出します

これまで実施してきた運転ボランティアによる移送サービスを、平成22年12月末で終了します。関係法令の改正などで、継続が困難になったためです。

長い間ご利用ありがとうございました。ご利用の機会がありましたら、ぜひご利用ください。

平成23年1月からは、移送車のみを貸し出しします。

利用対象者は、市内在住で、歩行が困難なため外出の時に車いすなどを必要とする人です。

利用時は、事前登録が必要です。

貸し出しに関する問い合わせや申し込みは、同センターまで。

移送車「ノア」スロープを用いて乗り入れます